

63 オジロトウネン

(チドリ目)

兵庫県ランク:B

Calidris temminckii

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道では旅鳥、本州、四国、九州では旅鳥または冬鳥。沖縄では冬鳥。兵庫県では主に9-翌3月に記録があるが、個体数は少ない。水田、川岸などの内陸の湿地などに生息し、甲殻類、貝類、昆虫類の幼虫などを採食する。



写真提供:但馬野鳥の会

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、(姫路市)、尼崎市、明石市、(西宮市)、(伊丹市)、豊岡市、(加古川市)、(赤穂市)、(加東市)、稲美町、(播磨町)



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

渡来は比較的稀で個体数も少ない。最大は1981年10月の稲美町加古大池での10羽で、多くは単独か数羽の群れである。県南部では冬期に水の抜かれたため池で記録されることが多い。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。